



関東学院大学

国 | 際 | 文 | 化 | 学 | 部

College of Intercultural Studies



関東学院大学

国際文化学部
College of Intercultural Studies



国際文化学部 学部長
吉田 広毅 教授

「言葉が通じれば、思いや考えが伝わる」コミュニケーションとは、そのような単純なものではありません。それは、日本語でやり取りをしても、しばしば誤解や行き違いが生じることからわかります。意思疎通を図るには、相手の環境や価値観などの文化的背景に思いを巡らせる必要があります。国際文化学部では、グローバル社会を生きるのに必要な文化について、多様な視点で学んでいきます。英語文化学科では国際共通語としての英語を中心に英語圏の文化を、比較文化学科ではヨーロッパ及び日本を含むアジアの文化や言語を学びます。そうした学びを通じて、文化的背景が異なる人々が何を思い考えているのかを理解し、相手に共感した上で共に生きていこうとする姿勢や態度を身につけていきます。

まず語学力、そして世界へ

多彩な国内・海外研修プログラム

国内での「英語キャンプ」「中国語合宿」「日本文化探訪」に加え、「国際交流演習」や「ワールドスタディ」などの、欧米やアジアの国々における海外研修プログラムを多数用意しています。海外研修に必要な語学力を鍛えるCALL教室やe-learningの設備も整っています。

充実した導入教育と資格取得のためのサポート体制

4年間の学びを実りあるものにするために1年次春学期の「基礎ゼミナール」でレポートの書き方やプレゼンテーションの仕方など、大学で学ぶための基礎的なスキルを身につけることができます。留学に必要なTOEFLや就職のためのTOEICのような資格試験はキャンパス内で受験することができるうえ、豊富な語学教材がそろっているメディア・ライブラリーで自学自習することもできます。また、必要な講座を受講すれば、中学や高校の教員（英語文化学科では中高の英語、比較文化学科では中学の社会、高校の地歴・公民）、学芸員、日本語教師、図書館司書などの資格を取得することができます。

世界各国の言語、文化、文学、歴史を学ぶ専門ゼミナール

日本語・日本文化、英語・英米文化をはじめ、ドイツ、フランス、中国、韓国・朝鮮など、世界各国の言葉や文化を研究する多彩な専門ゼミナールが開講されています。少人数制のゼミナールで、同じ興味を持つ学生同士が情報交換をしたり、議論を交わしたり、励まし合ったりしながら一人ひとりがテーマを深め、卒業論文に結びつけます。卒業論文発表会では4年間の学びの成果が在学生や教員の前で披露されます。専門ゼミナールで得た高度なコミュニケーション能力は社会に出てからも大いに役立ちます。

地域の特色を生かした教育・研究

国際都市横浜にある大学として、神奈川県内にある美術館、博物館、資料館など様々な文化施設と連携して、特色のある講座を設けています。また、そうした施設から講師を招き、近隣地域の人たちを交えて、横浜や鎌倉の文化について語り合うシンポジウムを開催し、地域に根差した教育や研究を進めています。

英語文化学科

英語を通して異文化理解と教養を深め、国際社会で活躍できる要素を身につけます。

● 必修科目 ● 選択必修科目 ● 選択科目 2020年度カリキュラム(予定)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専門科目	● 検定対策演習 I-1・2(TOEFL/TOEIC)							
	● リーディング演習 I-2 ● リスニング演習 I-1・2 ● リスニング演習 II-1・2(英語の歌) ● リスニング演習 III-1・2(映画) ● 留学準備講座 I-2(※1)		● CALL演習 I-2 ● 検定対策演習 II-1・2(TOEFL/TOEIC) ● リスニング演習 IV-1・2(映画2) ● 総合英語演習 I-2(※2)					
	● 異文化コミュニケーション入門 I-2 ● 英語学入門 I-2 ● 英語圏文化入門 I-2 ● 英米文学入門 I-2		● ライティング演習 I-1・2 ● ライティング演習 II-1・2(創作) ● スピーキング演習 I-1・2(会話1) ● スピーキング演習 II-1・2(スピーチ・スキル1) ● スピーキング演習 III-1・2(会話2) ● スピーキング演習 IV-1・2(スピーチ・スキル2) ● スピーキング演習 V-1・2(会話3)					
	● アメリカ文学史 I-2 ● イギリス文学史 I-2 ● 日英比較 I-2 ● 英語の歴史 I-2 ● 英語音声学 I-2 ● 英米の思想と社会 I-2 ● 現代英文法 I-2 ● 英語科教育法 I-2(※2)		● 中国の言語文化 ● 朝鮮の言語文化 ● 東南アジアの言語文化 ● 南アジアの言語文化 ● イギリスの言語文化 ● フランスの言語文化 ● ドイツの言語文化 ● スペインの言語文化 ● アメリカの言語文化 ● 日本の言語文化(古文)・(現代文)・(漢文) ● 言語学 I-2 ● 西洋古典語 I-2 ● 比較言語特殊講義 ● キリシヤ・ラテンの世界 I-2 ● 児童文学 I-2 ● 世界文学入門 ● 東西古典文学 ● キリスト教文学特殊講義 ● キリスト教文化史論 ● 比較宗教学特殊講義 ● 英語圏文化特殊講義 I-2					
	● 英語学研究 I-1・2(英語の音のしくみ) ● 英語学研究 II-1・2(英語の形と意味) ● 英語学研究 III-1・2(翻訳の技法) ● 英語学研究 IV-1・2(通訳の技法) ● 英語圏文化研究 I-1・2(イギリスの近現代小説) ● 英語圏文化研究 II-1・2(現代アメリカ文化論) ● 英語圏文化研究 III-1・2(英語圏の詩と文化) ● 英米文学研究 I-1・2(イギリスの演劇史) ● 英米文学研究 II-1・2(アメリカの近現代小説)		● 国際交流演習 I・II・III・IV(英米地域文化探求、サービスマーケティング、英語キャンプ) ● 英語文化基礎演習 I-2 ● 英米文学演習 I-1・2(中世文学) ● 英米文学演習 II-1・2(ルネサンス) ● 英米文学演習 III-1・2(イギリスの近現代小説) ● 英米文学演習 IV-1・2(アメリカの近現代小説) ● 英語圏文化演習 I-1・2(イギリスの旅行文化と文学) ● 英語圏文化演習 II-1・2(アメリカの思想と文学) ● 英語圏文化演習 III-1・2(英語圏の詩と文化) ● 英語学演習 I-1・2(音声・音韻) ● 英語学演習 II-1・2(形態・統語) ● 英語学演習 III-1・2(意味・語用) ● 英語学演習 IV-1・2(日英比較) ● 英語学演習 V-1・2(早期英語教育) ● 英語学演習 VI-1・2(翻訳演習) ● 英語学演習 VII-1・2(通訳演習) ● 英語学演習 VIII-1・2(社会言語学) ● 英語科指導法 I-2(※2) ● ゼミナール I-1・2 ● ゼミナール II-1・2 ● 卒論演習 ● 卒業論文(4)					
自主選択学修科目 所属学部共通科目・専門科目のうち卒業に必要な単位数を超えた科目、所属学科以外の科目、横浜市内大学間単位互換制度による他大学開講科目をさします。								

・1年間を春学期、秋学期(1セメスターずつ)に分けて履修していきます。()は単位数。単位数がないものは2単位
※1: 留学特待生対象科目 ※2: 英語科教職課程履修者対象科目

比較文化学科

外国語教育に加えて、国内外に赴く体験学修も重視。世界の共生を考える力を身につけます。

● 必修科目 ● 選択必修科目 ● 選択科目 2020年度カリキュラム(予定)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専門科目	● 異文化理解入門 ● 合同ゼミナール							
	● 比較文化論 I-2 ● 文化史論 I-2 ● 宗教文化論 I-2 ● 文化人類学 I-2 ● 日本文化論 ● 東アジア文化論		● 日本史 I-2 ● 日本の文化と社会 I-2 ● 中国史 ● 朝鮮史 ● 中国の文化と社会 ● 朝鮮の文化と社会 ● イギリス史 ● フランス史 ● ドイツ史 ● スペイン史 ● アメリカ史 ● イギリスの文化と社会 ● フランスの文化と社会 ● ドイツの文化と社会 ● スペインの文化と社会 ● アメリカの文化と社会 ● 日本と欧米(日本の欧米理解) ● 現代のイスラム社会 ● 現代の南アジア ● 現代の東南アジア ● 現代の中国 ● 現代の朝鮮半島 ● 現代のヨーロッパ(EU) ● 現代のラテンアメリカ ● 現代のキリスト教社会 ● 地域言語特論(中国語) I-2 ● 地域言語特論(韓国・朝鮮語) I-2 ● 地域言語特論(フランス語) I-2 ● 地域言語特論(ドイツ語) I-2 ● 地域言語特論(英語) I-2 ● 地域言語特論(スペイン語) I-2 ● ポルトガル語入門 I-2					
	● 中国研究入門 ● アメリカ研究入門 ● 朝鮮研究入門 ● 日本研究入門 ● イギリス研究入門 ● 南米研究入門 ● フランス研究入門 ● 東南アジア研究入門 ● ドイツ研究入門		● 中国の言語文化 ● 朝鮮の言語文化 ● 東南アジアの言語文化 ● 南アジアの言語文化 ● イギリスの言語文化 ● フランスの言語文化 ● ドイツの言語文化 ● スペインの言語文化 ● アメリカの言語文化 ● 日本の言語文化(古文)・(現代文)・(漢文) ● 言語学 I-2 ● 西洋古典語 I-2 ● 比較言語特殊講義 ● キリシヤ・ラテンの世界 I-2 ● 児童文学 I-2 ● 世界文学入門 ● 東西古典文学 ● 英語圏文化特殊講義 I-2 ● キリスト教文学特殊講義 ● キリスト教文化史論 ● 比較宗教学特殊講義					
	● 日本語学概論 I-2 ● 外国史 I-2 ● 人文地理学 I-2 ● 自然地理学 I-2 ● 倫理学概論 I-2 ● 哲学概論 I-2 ● 地誌学 I-2 ● 社会思想史 ● 社会学概論 I-2 ● 法学概論(国際法含む) I-2 ● 憲法 ● 日本文化史 ● 旅行業務取扱実務 I-2 ● 映画と神奈川・横浜		● 比較文化研究 I-2・3 ● 映像文化 I-2 ● スポーツ文化 I-2 ● ジャーナリストの見た世界 I-2 ● ホスピタリティ論 ● 海外ボランティア論 ● NPOマネジメント ● 観光事業論 ● 神奈川観光文化論 ● 世界遺産 ● 映像・メディア・技術演習(基礎)・(応用) ● 写真表現論 ● 神奈川の美術館から見る美術史 ● 民俗学 ● 考古学 I-2 ● 美術史 I-2 ● 編集・出版論 I-2 ● 文献情報の基礎 ● 生涯学習概論 ● 対照言語学 ● 社会言語学 ● ジェンダー社会学 ● 環境問題と現代社会 ● 家族社会学					
	● 2年次から研究を始める10人規模のゼミナールです。4年次には研究成果として卒業論文を仕上げます。		● テキストを読む I-2・3・4・5 ● 比較文化情報検索法 ● 日本文化探訪 I-2(4) ● ワールドスタディ I-2(各4) ● ゼミナール I-1・2 ● ゼミナール II-1・2 ● ゼミナール III ● 卒論演習 ● 卒業論文(4)					
自主選択学修科目 所属学部共通科目・専門科目のうち卒業に必要な単位数を超えた科目、所属学科以外の科目、横浜市内大学間単位互換制度による他大学開講科目をさします。								

・1年間を春学期、秋学期(1セメスターずつ)に分けて履修していきます。()は単位数。単位数がないものは2単位

国際共通語としての英語を学ぶ

グローバル化の進んだ現代、英語は国際共通語として世界中で使われています。英語文化学科では実践的な英語力を養うとともに、英語圏の文化・文学、そしてことばとしての英語のしくみを学びます。これらの学びを通して、世界の多様性を理解する国際人として社会にはばたいていける人材の育成を目指しています。

英語コミュニケーション能力を高める授業では、英語の4技能のスキルアップだけでなく、音声や構造、意味、歴史といった観点からも英語を学び、言語としての英語の本質を深く追求します。関連

科目には「英語音声学」「英語の歴史」「日英語比較」「翻訳の技法」「通訳の技法」等があります。

英語圏の文化を学ぶ授業では、文学、歴史、宗教など、さまざまな視野からその真髄に迫ります。関連科目には「英語圏文化入門」「現代アメリカ文化論」「イギリスの演劇史」「英米の思想と社会」「児童文学論」等があります。

また英語文化学科では、中学と高校の英語教師を志す人のための教職課程が設置されており、英語教育に重点を置いた科目も豊富に用意されています。

翻訳を通じて異文化理解

私は数十年に渡り、国際テレビ放送などで日英翻訳に携ってきました。その経験から学んだのは、言語的な理論の習得だけでは不十分な翻訳しかできないということ。例えば、日本語には英語と異なる特色として受動的な表現を頻繁に使う傾向があり、これは個人よりも和を大切にする日本人の国民性と大きく関連しているといえるでしょう。私はニュース原稿を英訳していたことがあるのですが、「～される」といった表現の多い文章を、能動態に変える工夫をしていました。というのも、そのまま直

訳すると英語を母国語とする人の言語文化に馴染まないのです。

言語にはそれを使う人たちのものの考え方や感じ方が色濃く反映されています。そのため、学生の皆さんにはただ単に言語を学ぶだけにとどまらず、その背景にある文化的な違いも知ってほしい。そうすることではじめて、自分と異なる文化圏の人たちとよりスムーズにコミュニケーションできるはずで、翻訳を学ぶことの真の目的はそこにあると思っています。

特徴的な授業

【現代英文法】
英語のwillとbe going toにはどんな違いがあるのでしょうか。日本語の「お昼食べた?」に相当するのはDid you eat lunch?でしょうか、それともHave you eaten lunch?でしょうか。この授業では、高校までに習った英文法を深く掘り下げて、ネイティブスピーカーの感覚に迫る「一歩進んだ英文法力」を身につけます。

【イギリス文学史】
ロビンソン・クルーソー、ガリバー、フランケンシュタインにドラキュラ…日本でも馴染みのこれらの登場人物たちは、イギリスの文学作品が生み出したものです。授業では、様々な作品を紹介しながら、部分的に作品を鑑賞していくことで、文化に対する理解を深めていきます。

【英語圏文化入門】
多民族国家アメリカの歴史と文化について学びます。アメリカの民族や宗教に関する基礎知識を養い、現代社会における異文化間の衝突、多様化するジェンダー、格差問題について理解を深めます。テキストだけでなく、映像、写真、歌などの幅広い資料を参照し、文化の生成と変容の過程を検討します。



翻訳研究が専門のデイヴィッド・ヒース先生

ハワイ サービス・ラーニング



現地研修を通して異文化交流する「ハワイ文化研究&サービスラーニング」プログラム。英語を学ぶだけでなく、英語を使ってボランティア活動してみたい人におすすめ!



ゼミナール



共通の関心を持つ仲間と指導教授の下、演習形式で学ぶゼミナール。ゼミ仲間と切磋琢磨してプレゼン力やディスカッション力を磨きたい人におすすめ!



英国研修



授業で学んだテーマを追ってイギリス各地に足を伸ばすと伝統の国の今が見えてきます。地域研究を極めたい人におすすめ!



英語資格試験受験サポート



留学や国際的なビジネスシーンに必要な英語力の指標となるTOEFL・TOEIC試験の無料受験サポート制度。英語力の進歩を客観的に確かめたい人にもおすすめ!



留学



英語圏への留学なら英語文化学科!実践型の英語トレーニングの授業も多く留学実現への近道です。英語圏で生活し、異文化を肌で感じたい人におすすめ!



留学特待生



英語文化学科独自の留学支援制度。留学特待生になると留学実現へ向けた様々なサポートが受けられます。大学生になったら留学!と決めている人におすすめ!



英語科教職課程



「中学校教諭・高等学校教諭(英語)一種免許状」の取得が可能なのは、英語科教職課程がある英語文化学科。中学、高校の英語の先生になりたい人におすすめ!



イングリッシュ・キャンプ



ネイティブ・スピーカーの教員陣と英会話オンリーで過ごす合宿型の英語キャンプ。二泊三日の国内留学で「英語が喋れる」を実感したい人におすすめ!



ハワイ文化研究& サービス・ラーニング

カピオラニコミュニティカレッジにて。左から、金澤柚夏子さん、佐久間沙紀さん。



夏休み中の12日間、ハワイで過ごしたサービス・ラーニング研修中、特に印象的だったのが、現地の老人ホームでの活動です。ハワイのお年寄りの方々が日本に興味を持ち、楽しんでくれるアクティビティは何か、事前学習中に全員で考えました。当日は、横浜に関するプレゼンテーションを行い、お茶や習字などの日本文化に触れてもらいながら、交流を楽しみました。しかしアクティビティ中は、お年寄りの方々からの質問にすぐ答えられなかったり、そもそも分からないことも多くありました。自分たちは日本についてそれぞれ調べてよく分かっているつもりでも、まったく知らない外国人に説明するには、より深く知る必要があることを学びました。そしてそれが、異文化間理解を深めることにつながるのだと感じました。



ワイキキにある老人ホームにて、習字のプレゼンテーション。

ゼミナール

映画からアメリカ文化を研究するゼミに所属する増子春香さん。



ゼミでは先生と学生の距離も近く、発言する機会が自然と多くなります。誰に気兼ねすることなく思ったことを自由に発言できる雰囲気はゼミならではのところです。今まで見た映画でとくに印象に残っているのは『ローマの休日』です。時代も境遇も私の日常とはかけ離れた物語ですが、たった1日で見違えるように成長するヒロインに感動しました。彼女が自分の人生に向き合う決意をする瞬間を感じとれたような気がしたのです。ゼミの発表では、社会のなかで女性が置かれている立場について考えてみたいと思っています。

英国研修

英国研修に参加した学生に訪問地について一言ずつ聞きました。左から、萩原美樹さん、山口安弥さん、上田紗苗さん。



ロンドンでとくに印象に残っているのは、ビッグベンとロンドン・アイ(London Eye)です。街の象徴でもあるビッグ・ベンを眺めるだけで心踊らされました。360度機体が透明なロンドン・アイは、ロンドン市内を一望できるオススメスポットです。(上田)
エディンバラは、町全体が世界遺産に指定されていて、旧市街と新市街の二つの都市が共存する、とても美しい都市でした。とくに旧市街はハリー・ポッターの雰囲気漂う街並みで、研修中の訪問地のなかで私はエディンバラが一番好きです。(山口)
湖水地方では豊かな自然に魅了され、心が癒されました。ここはピーター・ラビットの作者ビアトリクス・ポターやロマン派の詩人ワーズワースが愛し、暮らしたことで有名です。文人ゆかりの地を訪れ、イギリス文学に深く関わるとともに、古き良きイギリスのよさを新たに知ることができました。(萩原)



※「国際交流演習」の研修地は年によって異なります。

英語資格試験の受験サポート

英語文化学科では留学に必要なTOEFLと、就活などで役立つTOEICの無料受験を支援しています。TOEFL ITPは1・2年生全員を対象に毎年7月に実施。TOEIC IPIは全学年の希望者を対象に例年2月に実施しています。1年次の必修授業には資格試験の勉強に特化した「検定対策演習」や、TOEFLの模擬試験を授業内で行う「基礎ゼミ」もあります。将来の可能性を広げるためにも英語資格の取得にはぜひ果敢にチャレンジしてください。

留学

長期留学が目標だった高橋友哉さんは、アメリカ留学中に新たな目標ができました。(2019年卒業)



「留学すると世界が変わる」とよく聞きますが、留学してみればじめてその意味がわかりました。現地の学生は、それはもう本当に一生懸命、勉強していて、「なんで勉強するのか」、「これを知りたいから勉強する」、というものがはっきりしているんです。彼らからはたくさんの刺激をもらいました。
負けず嫌いな僕をやる気にさせる起爆剤的なものが、留学中は、いろいろなところにあつたように思います。「自分が本当にやりたいことってなんだろう」、ということも真剣に考えるようになりました。卒業後はイギリスの大学院へ進学して言語学を学びたいと思っているので、今はそれを目標に頑張っています。(2019年秋より英国の大学院へ進学)



リンフィールド大学(アメリカ・オレゴン州)

留学特待生

長期留学を目指して奮闘中。左から、草野大輝さん、牧田智子さん、坂本莉紗さん。



留学実現への近道だと思ってこの制度に応募しました。留学特待生になってよかったことは、特待生ならではの恩恵が受けられることです。留学に特化した「留学準備講座」を必ず履修できたり、留学者の学内選考期限まで何度もTOEFL ITPを無料受験できたりすることは嬉しい特典です。「留学準備講座」ではTOEFLのセクションごとの解答方法を具体的に学ぶことができ、自分なりにコツがつかめてきました。モチベーションの高い学生が集まっていることも大きな刺激になっています。

※留学特待生制度は、一般入試前期日程2科目型の受験者のみを対象としています。

英語科教職課程 (英語教員の養成)

教育実習を終えたばかりの石田礼奈さん。(2019年卒業)



私は中学校の英語教員になることを目指して大学では英語や教職の授業をとっています。教職の授業では授業作りなどを学んでいますが、自分が生徒だった頃の見方とは異なる、教える側の視点で見ると、毎回新しい発見があります。生徒と関わりを持つために1年次から参加している中学校の学習支援のボランティアでも、たくさんのことを学びました。教職の集大成ともいえる4年次の教育実習で初めて教壇に立ったとき、生徒との間に予想もなかったコミュニケーションが生まれたりしたことがとても面白かったです。そのとき授業は生徒とともに作っていくものなのだと肌で感じました。大変なこともありますが、生徒が楽しく学んだり、人として成長したりする姿を見ると、教員になりたいという気持ちが強くなります。

イングリッシュ・キャンプ

左から、河西祐美さん、大原梨乃さん。



英語の日常会話を身につけたいと、ずっと思っていました。1年次の履修科目にこの授業を見つけ、すぐにエントリー。ネイティブ・スピーカーの先生たちと過ごす2泊3日は、瞬間の出来事でありながら楽しく、刺激的でした。学生同士の日常会話もすべて英語に限定されますが、英語が得意でなくても引け目を感じる必要はありません。グループ単位で発表する英語劇や、暗唱コンクールを通じて、先生や友だちと意思疎通を図ろうとして、ふと英語で話している自分に気づき驚愕。性格まで積極的に変わるような、素敵な経験ができました。



多文化共生社会で生きる

国内でも国外でも国際的に活躍できる人間に

比較文化学科ではさまざまな国・地域の文化を学びます。ヨーロッパ（イギリス、ドイツ、フランス）、アジア（中国、韓国）、アメリカを中心に、それぞれの国・地域の文化を多様な観点（文学、芸術、歴史、宗教、思想、政治など）から学び、広い視野をもって国際的に活躍できる人材を育成します。

外国語も、英語に加えて5つの言語（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語）からひとつを選んで学び、ワールドスタディやスタディツアーといった海外研修、たくさんある協定校への留学を通じて、授業で得た知識を現地でより深めながら、コミュニケーションスキルの向上をはかることができます。

比較文化学科で学ぶ国には私たちの日本もふくまれます。まずは日本を知り、そこから外国の文化について考えていくというのが、比較文化学科の理念です。外国人に日本語を教える日本語教員の養成課程もあります。また、国や地域を中心とする文化のほかにも、映像文化やスポーツ文化を学ぶことができ、みなさんの関心次第で

いろいろな勉強ができます。

比較文化学科は名前の通りさまざまな文化を学びそれらと比較することを目的とします。ですが、たんに知識を増やしたり比較したりするだけでは国際的な人間にはなれません。たくさんの国の文化を知り比較することで、自国の文化にとらわれない広い視野を持つことが重要です。いま日本には多くの外国人が暮らしていますが、その数はこれからもっと増えていくと言われています。みなさんの周りにも見知らぬ外国人の住む地区や街ができるかもしれません。そのような「多文化共生」の社会で起こる、誤解や偏見にもとづくさまざまな問題、いざかいを、ほかの人がもっていない知識と言語能力、そして広い視野で解決する、そういった人間を目指してほしいと私たちは考えています。

国際的に活躍するために必ずしも海外に出ていく必要はありません（もちろん海外で活躍できればそれは素晴らしいことです）。比較文化学科では、日本を知り世界を学び、国内でも国外でも国際的に活躍できる人間を育てていきます。



イギリス文化担当の君塚直隆先生

特徴的な授業

【異文化理解入門】

そもそも異文化ってなんだろう？比較文化学科の学生が最初に出会うこの問いに答えるために、一年生の春学期に「異文化理解入門」という授業が設けられています。この授業では比較文化学科の先生方が交代で自分の異文化体験について話してくれます。さまざまな国や地域を研究する先生方は異文化についてどのように考えているのでしょうか？まずはここで異文化に対する自分なりの考えをまとめてみましょう。

【合同ゼミナール】

比較文化学科ではゼミナールによる少人数制の教育を重視しています。合同ゼミナールでは一年生を各30名程度のグループにわけ、先生方が地域や分野ごとにそれぞれのグループで交代で講義を行います。一方的な講義ではなく、学生との対話や議論、グループワークが中心となり、学んだことをきちんと表現できるかが問われます。二年生からは学生の発表が中心となる専門ゼミナールが始まりますが、その予行演習となる大事な授業です。

【フランス研究入門】

比較文化学科ではさまざまな国や地域の文化を学びますが、それぞれの国と地域について基本的な情報を学ぶ「研究入門」の授業が設けられています。そのうち「フランス研究入門」では一般的なフランスのイメージとはちがう、いわばフランスの「裏の顔」が紹介されます。たとえば、フランスは「移民の国」と言われるほどたくさんの外国人が住んでおり、異文化の交流や摩擦が日常的に生じています。フランスの文化についてなにをどのように考えればいいのか、そのきっかけをあててくれる授業です。

日本語教員養成課程



国際交流と言われてもなにをすればいいのかわからない、外国語も得意じゃないし、外国の人に教えられるものって自分にあるのかな、という人にはこれ！



中国語検定試験講座



いま中国語が勢いがあるって聞いたから中国語を勉強したい、できれば検定試験に合格したい、でも大学の勉強だけじゃ自信がないかも、という人にはこれ！



ワールドスタディ



大学で学んだ知識を現地で確かめてみたい、海外で異文化にふれてみたい、でもいきなりひとりで留学するのはちょっとつらいかも、という人のためにまずはこれ！



日本文化探訪



海外もいいけど自分はやっぱり日本が好き、日本のことをもっと知りたい、日本の文化をもっと海外に広めたい、という人にはこれ！



ゼミ



大人数の授業よりも少人数でじっくり先生の話を知りたい、ただ聞いているだけじゃなくて、先生や友だちと異文化についてたくさん議論をしたい、という人にはこれ！



オリエンテーションキャンプ



コミュニケーションがちょっと苦手、同じ高校の子もいないし、大学で友だちができるか不安、授業や試験のことを相談する相手がほしい、という人にはこれ！



留学



大学に入ったら留学をしてみたい、でもどうすればいいのかわからないし留学してちゃんと卒業できるかも不安、でもやっぱり留学はしたい、という人にはこれ！



旅行業務取扱管理者



将来は旅行会社に就職したい、でもなにか難しい試験を受けないといけないって聞いたような、自分ひとりで勉強して合格できるか不安だな、という人にはこれ！



留学

関東学院大学は海外にたくさんの協定校をもっており、毎年多くの学生が留学しています。比較文化学科の学生も、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、中国、韓国など、世界中の国に留学しています。期間はひと月、半年、一年から選べ、また本学の国際センターが窓口となつてつねにサポートしてくれますから、自分の計画に合わせて安心して留学することができます。留学先の大学で取得した単位を関東学院大学の単位に振り替えることができるため、卒業が遅れることもありません。最初は不安いっぱい、あるいは軽い気持ちで留学した学生も、帰ってくるとみちがえるように成長しています。比較文化学科では異文化や語学の勉強にとても力を入れているため、留学先で学んだことを存分に生かすことができます。みなさんもぜひ比較文化学科で留学をしてみてください。



カナダで語学研修！

旅行業務取扱管理者

比較文化学科からは旅行会社に就職する学生が毎年のように出ています。「旅行業務取扱管理者」は旅行会社に就職するにあたって必須となる国家資格で、比較文化学科では、在学中にこの資格を取得することを目的とした授業が開講されています（一般の授業なので資格試験の合格にかかわらず単位が取得できます）。一年生から受講でき、専門の教員による指導のもと過去10年間で延べ80名ほどがこの難関の国家試験に合格しています。学ぶ内容は法律から地理、さらには観光の知識、運賃の計算までさまざまですが、比較文化学科の学生の興味・関心に沿っており、毎年多くの学生が試験の合格を目指して受講しています。

ゼミ

大学には二種類の授業があり、ひとつは大教室で行われる講義、もうひとつが比較的小さい教室で行われる少人数の「ゼミ」（ゼミとはゼミナールの略です）。比較文化学科では、このゼミを一年生から実施しています（ふつうは三年生や四年生からのところが多いようです）。一年生の前半に基礎ゼミ、後半に合同ゼミがあり、二年生からは、学生が興味のある分野の先生をひとり選んで専門ゼミに入ります。基礎ゼミと合同ゼミは全員が同じ内容を学びますが、二年生からの専門ゼミでは、自分が選んだ先生のところで、その先生の専門について学びます。いずれも少人数制で先生と距離が近く、またゼミ生同士での議論が主体となるため、より集中して効果的に学ぶことができます。ゼミによっては夏休みや春休みに合宿に行くところもあり、大学で思い出をつくる場所にもなります。みなさんもぜひゼミに入って大学での勉強をもっと面白いものにしてください。



鄧捷先生（中国文化担当）のゼミの様子

オリエンテーションキャンプ

比較文化学科では、入学してすぐの4月はじめに一年生全員で一泊二日の合宿に行きます。金沢文庫キャンパスの近くの「森の家」という場所で行われるこの合宿では、先生方の自己紹介から先輩による諸課程や留学の紹介、合宿のあとすぐにはじまる授業の履修相談などがあり、みなさんが大学に入るとまどうことのないよう、みんなでサポートします。もちろんそれだけではありません。メインはむしろそのあとで、先生方をふくめて全員でご飯を食べ、夜の自由時間には楽しいおしゃべりが待っています。強制参加ではありませんが、毎年ほとんどの学生が参加し、これから四年間をともに過ごす友人をつくります。こちらぜひ参加してみてください。



みんなでご飯！

ワールドスタディ

比較文化学科には、大学で学んだ海外の文化に関する知識を、実際に現地に行って自分の目で確かめより深める、ワールドスタディという海外研修の制度があります。教員の引率のもとで一週間ほど海外に滞在します。ほかの学生といっしょに行くためひとりでは心細くなることもありません。ヨーロッパの美術館を訪れ、アメリカ先住民に会い、中国で日本語を学ぶ学生と交流し、韓国で元従軍慰安婦の方の話を聞く、こういった体験を通じて、異文化というものをより身近に、そして生々しく感じてもらいます。この体験はきっとみなさんが大学で勉強する大きなモチベーションとなるはずです。ワールドスタディ以外にもいろいろな海外研修の制度があります。ぜひ利用してください。



中国で現地の学生と交流！

日本文化探訪

比較文化学科にはもうひとつ、日本文化探訪という研修の制度があります。ワールドスタディは海外に行って外国の文化を学ぶためのものですが、こちらは海外ではなく、鎌倉から京都、長崎、沖縄まで、国内各所をめぐる日本の歴史や伝統的な文化を学ぶためのものです。ふつうに旅行をしているだけでは知ることのない現地の歴史や伝統を知ることができます。日本文化探訪は、「日本を知り世界を学ぶ」という比較文化学科の目的に欠かせないプログラムです。日本文化探訪で経験したことは、自分にとってだけでなく、海外の人に日本の文化を紹介するときにもきっと役に立つでしょう。ワールドスタディも日本文化探訪も授業のひとつですから、ほかの授業と同様に単位を取得することができます。



日本文化探訪で沖縄へ！

日本語教員養成課程

ほかの学部にはない比較文化学科の特色のひとつに、日本語教員養成課程があります。この課程では、日本語教育を専門とする先生のもと、外国人に日本語を教えるための技術や方法を学びます（日本語教員に必要となる日本語教育能力検定試験の合格を目指します）。日本語はマンガやアニメの影響で海外でも大人気で、日本語を学ぼうとする外国人は今後ますます増えていくと言われています。日本語教員のいいところは「日本語を教えながら国際交流ができる」ことです。もちろん、そのためには英語やほかの外国語を身につけておくことも必要となるでしょう。日本語教員は、「日本を知り世界を学ぶ」ことを目的とする比較文化学科にぴったりの職業だと言えます。比較文化学科には中国やベトナムからの留学生がいますから、彼らとキャンパスで交流することも、日本語教員を目指すよいモチベーションになるはずです。



藤村春菜さんの検定試験合格証書と参考書

中国語検定試験講座

比較文化学科では、英語のほかにドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語からひとつを選んで学びますが、なかでも中国語の教育には力を入れており、中国語検定（HSK）の2級と3級の合格を目指して毎年3月に集中講座を行っています。例年10名ほどの学生が約一週間の日程で参加し、ネイティブの先生による熱心な指導を受けて試験に臨みます。講座に参加した学生は非常に高い合格率（ほぼ100パーセントです）を誇っており、英語以外の語学も重視する比較文化学科になくてはならない講座となっています。中国語を勉強したい、語学の資格を取りたい、という方におすすめです。

卒業生の声

比較文化学科
2016年卒業
川口 緑 さん



「日本で働いていても異文化理解は重要になってきている」という卒業生の川口緑さん。

高校時代にさまざまな国の文化に興味を持ち、比較文化学科で国際文化について学びました。私はアメリカ文化を研究するゼミに所属し、消滅危機言語であるハワイ語の衰退と、リゾート地となってしまったハワイという土地での先住民のありかたについて研究しました。現在は地元にある農業協同組合の金融関係に就職し、窓口係としてお客様の貯金のお手伝いをしています。農協は銀行とは少し違い、地域農業を支えるための企業です。文学部から経済の道へと進み、まだまだ勉強に励む毎日ですが、地元とそこに暮らす人（外国の方もいます）を大事にするという点で、学生時代に異文化について学んだことが活かしていると感じます。日本で働いていても異文化理解って重要になってきているなど思うことが多いですね。在学中にアメリカやハワイに行ったこともあって、お客様と海外旅行の話をするのも楽しみのひとつです。

英語文化学科 DATA

目指せる資格・免許

○TOEFL／○TOEIC／○英語検定／●中学校教諭(英語)／●高等学校教諭(英語)／●日本語教員／●司書／●司書教諭 ほか

卒業後の主な進路

運輸・航空業／観光・ホテル業・飲食業／金融保険業／商社／外資系企業／建設製造業／情報通信／卸小売／医療福祉／サービス業／教員(中学・高校)／学習塾／国家・地方公務員／大学院進学／英語圏大学・大学院進学 など

比較文化学科 DATA

目指せる資格・免許

○旅行業務取扱管理者／●日本語教員／●学芸員／●司書／●司書教諭／●中学校教諭(社会)／●高等学校教諭(地理歴史／公民) ほか

卒業後の主な進路

旅行関連企業／国際機関／外資系企業／民間企(国際部門)／教員(中学・高校)／日本語教員／物館・美術館学芸員／金融業／サービス業／学習塾／公立図書館司書／大学院進学 など

〈記号〉○→学科関連資格 ●→所定の課程の履修で資格取得
※過去5年間の実績より抜粋。

〈記号〉○→学科関連資格 ●→所定の課程の履修で資格取得
※過去5年間の実績より抜粋。

近年の国際文化学部 主な就職先

味の素株式会社	ANA ウィングス株式会社	エイチアールティニューオータニ株式会社	株式会社TBグループ	株式会社東急百貨店
株式会社フジデン	株式会社JALスカイ	株式会社セブンイレブン・ジャパン	ニッコー株式会社	株式会社静岡博覧堂
株式会社丸運	株式会社JALDFS	三菱電機ビルテクノサービス株式会社	日本生命保険相互会社	岡三にいがた証券株式会社
トナミ国際物流株式会社	座間市役所	松本市役所	よこすか葉山農業協同組合	さわやか信用金庫
新日本空調株式会社	警視庁	横浜プリンス神奈川販売株式会社	神奈川トヨタ自動車株式会社	日本郵便株式会社
ロクシタンジャパン株式会社	横浜環境保全株式会社	社会法人親善福祉協会国際親善総合病院	大和ハウス工業株式会社	法務省